

2022年4月22日

株式会社三菱UFJ銀行

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構が発行するソーシャルボンドへの投資について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち}半沢 淳一、以下 当行）は、今般、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構（以下 同機構）が発行する「第280回日本高速道路保有・債務返済機構債券（ソーシャルボンド）」（以下 本債券）への投資を決定いたしました。

本債券は、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金を調達するために発行する債券です。本債券の発行により調達された資金は、同機構が策定する「ソーシャル・ファイナンス・フレームワーク^[1]」で示されている高速道路事業における債務のリファイナンスに充当され、「持続可能で強靱な国土の形成」および「地方創成・地域活性化」という社会的課題の解決に活用されます。

なお、本債券は、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、セカンド・パーティ・オピニオンを取得し、国際資本市場協会（International Capital Market Association/ICMA）が定義する「ソーシャルボンド原則2021^[2]」および金融庁が定義する「ソーシャルボンドガイドライン^[3]」に適合していると認められております。

当行は、本債券への投資を通じ、今後も高速道路事業の促進を図ると同時に、責任ある機関投資家としての責務を果たし、持続可能な社会の形成への貢献をより一層進めてまいります。

【本債券の概要】

銘柄	第280回日本高速道路保有・債務返済機構債券（ソーシャルボンド）
年限	3年
発行額	300億円
発行日	2022年4月28日

^[1] 同機構が策定する「ソーシャル・ファイナンス・フレームワーク」は以下をご参照ください。

https://www.jehdra.go.jp/pdf/irpdf/socialfinance_framework.pdf

^[2] 国際資本市場協会（ICMA）が定義する「ソーシャルボンド原則2021」（英文）は以下をご参照ください。

<https://www.icmagroup.org/sustainable-finance/the-principles-guidelines-and-handbooks/social-bond-principles-sbp/>

^[3] 金融庁が定義する「ソーシャルボンドガイドライン」は以下をご参照ください。

<https://www.fsa.go.jp/news/r3/singi/20211026-2.html>

以上